

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人材を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、心身ともに健全で思いやりのある生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	8名
	事務局(教職員)	8名

学校自己評価								学校関係者評価	
年度目標				令和6年度評価(3月10日現在)				実施日 令和7年3月10日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>現状 生徒は積極的に授業に取り組んでおり授業内容も概ね理解している。保護者においても、本校の資格取得を中心とした学力向上への期待は高い。</p> <p>課題 ・学力の定着を図るための授業改善。 ・上位の資格取得が目指せる環境の充実。 ・ICTを活用した質の高い授業の工夫。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を育てる授業の実現 検定合格者数 効果的なICTの利活用 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させるため生徒主体の授業を展開し、自ら学ぶ意欲と姿勢を育てる。 資格取得を奨励して、学習の動機付けを行い、より広範で高度な資格取得を目指す。 ICTやデジタル教材を活用し、わかる授業及び個別最適な学びに取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業への取組状況や理解度等。(生徒アンケート) 各種検定の取得状況や生徒の満足度等。(普通教科も含む) 授業におけるコンピュータやタブレット等のICT機器利用の取組状況等。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の92.1%が「授業の内容を理解できている」また、88.2%が「先生の説明はわかる」と回答しているため、学ぶ意欲を育てることができている。 日本商工会議所の簿記検定2級に48名が合格。情報セキュリティマネジメント試験7名、基本情報技術者試験に16名が合格。授業全般について91.9%が「満足している」と回答している。 多くの先生がGoogle ClassroomやGoogle Formsを活用した連絡や課題テストなどを行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習について「学習していない」「まったく学習をしていない」と回答している生徒があわせて46.7%となっている。授業以外での学習習慣の定着を図る。 タブレット端末等を活用した授業改善に取り組み、効率よく生徒が学習に取り組める環境づくりと、より質の高い授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 随所に先生方の指導の成果が感じられる。 教職員の評価結果を見ると、指導に対する教職員の意識の高さを窺い知ることが出来る。校長を中心とした学校経営が、教職員の意識を校長の目指す方向にうまく向けさせていることの現れだと思う。 全体として、生徒は満足して落ち着いて学校生活を送っている様子が伺える。 	
2	<p>現状 登下校時の服装、マナーに関して地域住民から評価が得られていない。学校運営に関して、生徒が意思を表明する機会が確保されていない。</p> <p>課題 ・登下校時の服装指導について徹底。 ・生徒との対話による学校運営。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの向上 生徒の意見を取り入れた学校運営の実現 	<ol style="list-style-type: none"> 該当分掌を中心に全職員で協力し、登下校時や校内の服装マナーの向上を図る。 生徒総会や学校評価懇話会において、生徒意見を表明する機会を確保し、対話を通じて生徒の意見を学校運営に活かす。 	<ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの状況把握(生徒アンケート)と保護者や地域住民からの評価等。 生徒意見を反映させた学校運営の実施等。 	<ol style="list-style-type: none"> 服装については女子のスカート丈など制服を着崩す生徒が見られ、保護者や地域住民から厳しい御指摘いただいている。 生徒会を中心とした生徒委員会等からの意見表明をもとにポロシャツの導入を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生徒指導部を中心に全職員が協力し、制服の正しい着用について生徒会生徒にも考えさせ、生徒の意識を向上させる取組を進める。 生徒総会や各種生徒委員会、評価運営委員会などで、生徒意見を表明させる機会を設け、学校運営に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者からの満足度は非常に高いことがわかる。引き続き、社会状況に合わせた生徒・保護者への対応をしていただくとともに、生徒の命を守るためにも交通マナー向上の取り組みに力を入れていただきたい。 生徒の生活様式については、今の時代、学校からの指導がしにくい状況にあるように思う。生徒が主体となって、服装や登下校時の交通マナーについて考えさせる必要がある。 	
3	<p>現状 生徒、保護者ともに進路実現に関しての満足度は高い。就職者よりも専門学校を含めた進学を選択する生徒が多くなっている。四年制大学への進学や公務員等への就職も着実に増えている。</p> <p>課題 ・1年次からの進路意識の醸成。 ・進路手帳の活用状況の向上。 ・キャリアノートの活用状況の向上。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス機能の強化 進路手帳の活用 キャリアノートの活用 	<ol style="list-style-type: none"> 外部講師を招いたキャリア教育を実践するなど、ガイダンス機能を強化し、進路意識の向上を図る。 集会やガイダンス等でメモを取る習慣を付けさせ、学校行事等での活動を記録するなど進路手帳の有効活用を図る。 すべての学年においてキャリアノートの活用を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況や進路意識の向上等。 進路手帳の活用状況等。(生徒アンケート) キャリアノートの活用状況等。(生徒アンケート) 	<ol style="list-style-type: none"> 外部の講師による進路指導や企業の若手社員との交流会等を実施し、進路意識の向上が図れている。3年生では進路指導について96.5%が「満足している」と回答している。 集会や進路行事等で進路手帳を持参させ、メモをとる習慣が付きつつある。 3年生の78.5%が「キャリアノートを活用している」と回答している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 外部との連携を一層充実させることで、キャリアガイダンス機能を強化し、生徒の進路実現を支援する。 キャリアノートについて、1年生の活用率が低い。キャリアノートの効果的な活用を継続して検討し、早い段階から進路意識の醸成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自らの進路に対し、より高い目標を掲げ、その目標達成に対し、先生方の指導、支援を期待する。 個別の進路指導について、教職員の自己評価と保護者の見解の一部に差異が認められる。生徒一人ひとりに対して個別に対応、指導することは当然のことであるが、保護者から一層信頼される指導、支援を期待する。 	
4	<p>現状 地域や企業との連携は十分にできている。ホームページでの情報発信や体験入学が生徒募集に結びついている。</p> <p>課題 ・中学生やその保護者に、本校の教育内容や商業の魅力の効果的に伝えるためのさらなる工夫。 ・地域や企業、近隣学校の児童生徒や保護者等と連携した取組の充実。 ・PTA、後援会、同窓会と連携した取組の充実。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教育内容の効果的な情報発信 授業を通じた地域との連携 PTAとの連携と保護者への効果的な情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> HPの充実を図り、学校行事や特徴ある取組を中学生やその保護者へ積極的かつタイムリーな情報発信に努める。 地域と協力しながら「渋沢栄一翁」の教えや功績を授業に活かし、地域と協働した授業展開を行う。 PTAや後援会・同窓会と連携しながら、保護者の信頼に答える学校環境づくりに努める。 	<ol style="list-style-type: none"> HPの情報発信状況と学校説明会や体験入学の満足度(アンケート)や参加状況等。 地域や企業との連携や地域に関係する行事、近隣学校との連携等。 PTAとの連携行事の満足度(保護者アンケート)や後援会・同窓会との連携行事等。 	<ol style="list-style-type: none"> HPには学校行事やイベント、部活動での大会結果等の活動記録を随時掲載している。体験入学での学習内容に大変興味を持った生徒は26.1%、興味が湧いた生徒は42.8%であった。 深谷市や青年会議所主催のイベントや地域のボランティア活動への参加、商品開発での企業連携などを実施。 保護者の89.3%が「PTA活動は親しみやすく、学校との連携がなされている」という質問に対し、「当てはまる」と回答している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、中学生が興味を引くような情報や商業の学習内容の魅力、活気ある学校生活の様子などを適切かつ迅速に発信する。 地域のイベントや地元企業と連携した「商品開発」等の取り組みを通じ、学校の魅力を積極的に伝える機会を増やす。 PTA行事に積極的に参加する機会を設け、学校の様子や商業科目の内容を理解してもらう工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代は、スマートフォンでの情報のやりとりが主流であることから、LINEや動画を利用したPR手段の構築を検討する必要があるのかもしれない。 全てのアンケート結果から生徒、教職員、保護者からの学校への評価が高いと感じる。この結果を継続できるようにPTAも全面的に協力していきたい。 	